



令和6年度学校評価

＜令和6年度 学校評価を受けて＞

昨年12月に行った学校評価へのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からいただきましたご意見と教職員の自己評価と合わせて、次年度に向けての改善を図ります。以下に、今年度の評価についてお伝えします。また、多数ご意見をいただきました内容につきましても回答いたします。

1 全体的な評価

全体的には、保護者及び教職員共に良好な評価をしていることが分かります。保護者様の評価が高かったのは、情報提供、保健、給食、連絡体制に関する項目です。一方、評価が低かったのは、学習指導、いじめや不登校などの問題行動への対応（生徒指導）、特別支援教育に関する項目で、課題となっています。

令和6年度「学校評価に関する保護者・教員用アンケート」の比較

保護者アンケート回収率78.46%（前年度比+0.85%）

この表の最高点は4点、最低点は1点となり、そのため平均点は、2.5点となります。

設問	項目	R6 保護者 平均値	R5 保護者 平均値	教職員平 均値
4	お子さまは、『相手の立場を思いやれる子』『気持ちの良い挨拶のできる子』に育っていると思いますか。	3.05	3.06	2.68
5	お子さまは、『基礎的基本的な学力が身に付いている子』『学習方法・習慣が身に付いている子』に育っていると思いますか。	2.80	2.81	2.60
6	お子さまは、『自ら進んで運動する子』『健康や安全に気を付ける子』に育っていると思いますか。	2.90	2.72	2.81
7	お子さまは、主体的（自分から進んで）に学んでいると思いますか。	2.66	2.64	2.58
8	お子さまは、読書等に主体的に取り組み、本に親しむことができたと思いますか。	2.63	2.59	2.92
9	本校では、学校職員と相談をしやすい環境となっていると思いますか。	2.95	2.90	2.94
10	本校では、スクールカウンセラーと相談をしやすい環境となっていると思いますか。	2.81	2.73	3.13
11	本校では、いじめや不登校等の問題行動に対し、適切な取り組みがされていると思いますか。	2.74	2.64	2.96
12	本校では、個人面談や生活アンケートなどを活用し、児童理解に努めていると思いますか。	3.04	2.99	3.21
13	本校では、特別に支援が必要とされる児童に対して教育的ニーズに応じた指導がされていると思いますか。	2.70	2.57	3.00
14	お子さまは、道徳の授業や全教育活動を通して、道徳性が身に付いたと思いますか。	2.93	2.90	2.75

設問	項目	R6 保護者 平均値	R5 保護者 平均値	教職員平 均値
15	児童同士（教師と児童）が信頼し合い豊かな人間関係作りができたと思いますか。	3.03	3.06	3.04
16	本校では、安全に関する指導・教育実践（避難訓練・登下校の指導等）が十分されていたと思いますか。	3.07	3.05	3.08
17	本校では、教育の場にふさわしい環境整備（教室環境含む）がなされていたと思いますか。	3.04	3.02	3.00
18	本校では、学年・学級により（週プロ）などを通して、学校の出来事や児童の様子を保護者に伝えていていると思いますか。	3.23	3.25	2.92
19	本校では、学校便りやホームページを通して、学校の出来事や児童の様子を保護者に伝えていていると思いますか。	3.14	3.09	3.03
20	本校では、保健に関する情報を提供し、健康で安全な毎日を過ごせるように努めていると思いますか。	3.10	3.10	2.96
21	本校では、食に関する情報を提供し、お子さまが健康的な食事に対する意識を高めていると思いますか。	3.10	3.11	3.04
22	学校へ連絡した内容が、きちんと担任へ伝わっているなど、校内の連絡体制が整っていると思いますか。	3.12	3.11	3.06
23	PTA（保護者）や地域の方の子どもの見守り活動は連携して行えていると思いますか。	2.95	3.02	3.13
24	（1，2年生の保護者のみ） お子さまは、「英語科」の学習に意欲的に参加していると思いますか。	3.10	3.11	3.13

2 いただきましたご意見や評価について

「学習指導について」

児童が主体的に学習に取り組み、学習の基礎基本をしっかりと身に付けられるように、教職員同士で授業を参観し合ったり研究したりしています。また、学習に積極的に ICT を取り入れ活用しています。自分の考えをまとめる、意見を交換する、内容をまとめてみんなに発表する等、様々な場面で活用しています。学習の手段として取り入れ、学びを広げ、深められるようにしていきたいと考えています。子供たちの主体性の向上と基礎基本の定着に向けて、教職員一同創意工夫を凝らしながら取り組んでまいります。

「特別支援教育・生徒指導について」

本校の特別支援教育・生徒指導では、教職員が学校生活全般において児童と関わり合いながら児童理解に努めております。児童一人一人の良さや課題を担当だけが把握するのではなく、学年や特別支援部会、生徒指導部会、スクールカウンセラー等が情報を共有し対応しております。いじめ防止に関しては、年4回の学校生活アンケートと個に応じた児童との面談、毎月の教育相談日、年2回の保護者個人面談を行い、児童の実態把握に努めています。また、今年度より、校内教育支援センター（さくらルーム）を設置し、教室に入りづらい児童が自分に合ったペースで学習・生活できるようにしています。諸問題や課題に対して教職員間で連携を密に取り、組織的に対応してまいります。今後も配慮が必要な児童につきましては、保護者様と相談の上、必要に応じて市教育委員会、その他関係機関と連携して指導・支援を行います。

「学校行事について」

今年度は、積極的に児童全員が集まっての行事や集会を行いました。音楽集会や6年生を送る会では歌声や演奏、劇や発表をお互いに鑑賞し合い、気持ちまで伝え合うことができていたように思います。行事を通して子供たちは大きく成長することを教職員一同実感しています。また、体力を向上するために休み時間にマラソンを行う取組を行いました。児童は自分で目標を決め、積極的に取り組んでいました。今後も安全を十分に配慮した上で学校として取り組める形で実施していきたいと考えております。

「情報提供について」

今年度は各種お便りをホームページに掲載していくようにしました。保護者専用ページと一般用のページを分け、個人情報等に配慮しながら掲載しています。来年度より学年だよりも掲載し、電子媒体でいつでもご覧いただけるようにします。また、新着情報として各学年の児童の学習の様子もホームページでお知らせしています。今後もホームページを活用した情報提供に努めていきたいと考えております。

いただきましたご意見ご要望にしっかりと向き合い、さらなる改善を図ってまいります。また、記述欄には、教職員に対する温かいお言葉をいただき、たいへん感謝をしております。今後も、児童や保護者の皆様、地域の皆様の信頼をさらに得られるよう、教職員全体で職務にあたっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。